

来週の「売り物」記事はこれ



2016年9月2日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

もう一度、頂点へ ゴールボール 欠端瑛子

4日(日)



7日に開幕するリオデジャネイロ・パラリンピックで、ゴールボールの女子日本代表は2012年ロンドン大会に続く金メダル獲得を目指します。視覚障害者による球技・ゴールボールは、1チーム3人で鈴の入ったボールを投げあい、相手ゴールに入れて得点を競います。ボールの大きさはバスケットボールとほぼ同じ。男子のトップ選手が投げると、時速約70kmにも達します。2大会連続の代表に選ばれた欠端瑛子選手(23)の父、光則さん(53)は元プロ野球の投手。ロッテ、大洋(当時)で通算57勝を挙げ、現在は横浜DeNAのスカウトを務めています。ロンドン後、選手として伸び悩みを経験し、最後までリオ代表の当落線上にいた欠端選手と、娘を見守ってきたちょっと不器用な父。2人の関係から4年間の軌跡をたどりました。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

25年ぶりVへ「ときめき」最高潮

私たちの「カープ愛」

夕刊特集ワイド 5日(月)



プロ野球・広島カープが25年ぶりのリーグ制覇へひた走ります。「カープ女子」の増加、大リーグから帰ってきた黒田博樹投手の「男気伝説」など話題に事欠なかったものの、優勝には遠かったカープ。オバマ大統領が広島を訪れた今年、ついにマジックが点灯し、ファンの盛り上がりは最高潮に。なぜ彼らは、このチームに心ひかれるのか——。真っ赤にうねるスタンド、東京都内のお好み焼き店などを巡り「カープ愛」に迫ります。

「がん大国白書第3部 AYA世代の試練」 6日朝刊スタート

国民の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなる日本のがん医療の現状を掘り下げるシリーズ「がん大国白書第3部 AYA世代の試練」が始まります。「AYA(思春期・若年成年)世代」とは、10代半ばから30代の若者を指します。中高年のがん、小児がんについては、さまざまな体制整備が進んできましたが、AYA世代は患者数が少ないこともあり、そのはざまに落ち込んでしまっています。しかし、進学、就職、結婚、出産など多くの人生の転機を迎える時期に当たるため、がんによる影響や必要な支援は他の世代とは異なります。AYA世代のがん患者たちに会い、話を聞き、そして見えてきた課題を描きます。



保育に関する大規模調査

医療・福祉面 7日(水)



東京大学発達保育実践政策学センターが、全国約3万人の保育士・幼稚園教諭を対象に大規模調査を実施しました。それによると、現場の保育者は「事務量の多さ」や「仕事の責任の重さ」を負担に感じていることが分かりました。また、担任の8割が疲れを感じていると答えています。調査は市区町村の担当者にも実施しており、保育所定員など保育サービスの量の拡充に比べ、保育の質の改善が遅れていると認識していることも浮かび上がっています。現場と行政担当者がどう感じているのか、詳しく紹介します。

スマホをなくしたら

くらしナビA面 9日(土)

ほとんどの人が携帯電話やスマートフォンを持ち歩くようになった現代。特にスマホは電話帳やスケジュール帳、さらには電子マネーや決済機能、データ保存機能も付いており、もし紛失したら日常生活が著しく不便になります。パスワードがかかっている状態で第三者に拾われたら個人情報流出の危険もあります。万一なくした場合、どうすればよいかを紹介します。



食べて夏バテ解消

くらしナビA面 6日(火)



暑い日と涼しい日が交互にやってきて、少しずつ秋の訪れを感じるようになってきました。季節の変わり目は、夏の疲れが一気にでて、体調を崩す人も少なくありません。夏の疲れをとる食事を料理研究家の川津幸子さんに聞きました。川津さんは本紙くらしナビ面「食卓の一品」で、簡単でしかもおいしい日々のレシピを紹介しています。元気が出る料理です。

加藤登紀子さん・中村哲さん対談 おんなのしんぶん 4日(月)

歌手の加藤登紀子さんがホスト役を務める対談「Tokiko's Kiss」。今回のゲストは、アフガニスタンで支援活動続けるペシャワール会現地代表の中村哲医師(69) **=写真=**です。干ばつに見舞われたアフガンで井戸を掘り続け、全長25^{km}の用水路を完成させて3000^{ha}の農地を回復させた中村さん。30年の歩みを振り返りながら、「本当の豊かさ」について語り合いました。

